

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	視能訓練士学科3年制	科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	視能矯正学総論Ⅰ	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年	学期	前期	教室名	
担 当 教 員	吉田美香				
実務経験と その関連資格	視能訓練士として、眼科検査および訓練に従事した。				
《授業科目における学習内容》					
視能訓練士の歴史、視能矯正の枠組みを学ぶ。 また、視能訓練士業務の1つである弱視・斜視の概念を学ぶ。					
《成績評価の方法と基準》					
定期試験80％、小テスト20％					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
視能学第3版、病気がみえるvol.12眼科					
《授業外における学習方法》					
テキストを予め読んでおくこと。					
《履修に当たっての留意点》					
視能訓練士の業務を理解するとともに、医療人としての倫理観を身につけて欲しい。					
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 1 回	授業を 通じての 到達目標	QOL、QOV、QOVLについて説明できる 両眼視機能の3つの要素が説明できる。		視能学第3版 病気がみえるvol.12 眼科	視能学第3版p198-200
	各コマに おける 授業予定	健康、視能障害、QOL、Maslowの生理的欲求			
第 2 回	授業を 通じての 到達目標	視能矯正の歴史について説明できる		視能学第3版	視能学第3版p201-204
	各コマに おける 授業予定	視能矯正の歴史			
第 3 回	授業を 通じての 到達目標	視能訓練士の職務倫理・守秘義務について理解し、説明できる		視能学第3版	視能学第3版p209-211
	各コマに おける 授業予定	視能訓練士の倫理			
第 4 回	授業を 通じての 到達目標	視能訓練士の業務管理と運営について理解し、視能訓練士がおこなえる 検査について説明できる		視能学第3版 病気がみえるvol.12 眼科	視能学第3版p204-206
	各コマに おける 授業予定	視能矯正の展開①			
第 5 回	授業を 通じての 到達目標	視能訓練士の業務管理と運営について理解し、視能訓練士が行えない 検査について説明できる		視能学第3版 病気がみえるvol.12 眼科	視能学第3版p204-206
	各コマに おける 授業予定	視能矯正の展開②			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	インフォームドコンセントとは何か説明できる	視能学第3版	視能学第3版p211-212
	各コマにおける授業予定	インフォームドコンセント		
第7回	授業を通じての到達目標	視能訓練士の教育および資質と適正を学び、今すべきことはなにかを考える	視能学第3版	視能学第3版p212-214
	各コマにおける授業予定	視能訓練士の教育、視能訓練士の資質と適正		
第8回	授業を通じての到達目標	弱視・斜視の基本的知識を理解し、それぞれの病態を特徴を説明できる。	視能学第3版 病気がみえるvol.12 眼科	15
	各コマにおける授業予定	ヒトの視覚の感受性期間、弱視の基本知識。斜視の基本知識		
第9回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第10回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第11回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第12回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第13回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第14回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第15回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			